

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月20日更新

事務事業名		市営住宅整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	松岡 巧晃
	施策の柱	57	公営住宅の充実			所属班	建築住宅班	(内線)	5266
予算科目	会計一般	款 8	項 5	目 2	事業連番 11646	根拠法令	公営住宅法 合志市営住宅条例		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 ~ 4 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市営住宅長寿命化計画等に基づき市営住宅の建設・建替・改修・解体等を行う。
【業務の流れ】	平成30年度は住宅マスタープランの策定
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
住宅、住環境に関する課題の整理、公的賃貸住宅の需要推計、基本方針と目標の設定等を行い、住生活の安定の確保及び向上の促進を図るため住宅マスタープランを策定した。	市営住宅長寿命化計画の見直し
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件
→ イ 整備に関する工事又は委託件数	単年度事業である住宅マスタープラン策定完了による減、およびPFI事業での合生住宅建替中止による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
入居者で補修を要望するもの	(単位) 戸
→ イ	ア 市営住宅の管理戸数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全、快適に住むことができる	(単位) %
→ イ	ア 優良な管理住宅戸数の割合
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠	
快適な住環境で暮らすことができる	
総トータルコスト 全体計画 ~ 4年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア 件		12	12	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア 戸		299	299	297	297	297	294	294	294
	イ									
③ 成果指標	ア %		100	87.62	85	84.51	85	85	85	85
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	21,054						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	25,500						
		その他	千円			321				
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	25,805	12,528		4,644			
		(A) 事業費計	千円	72,359	12,528	321	4,644	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	0	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	650	650	0	640	600	600	600	
(B) 人件費計		千円	0	2,571	0	2,522	2,390	2,390	2,390	
トータルコスト(A)+(B)		千円	72,359	15,099	321	7,166	2,390	2,390	2,390	

事務事業名	市営住宅整備事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 達成見込み有。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 合志市の公営住宅の在り方等を見直していき成果向上へ繋げる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 財政状況を踏まえ、最小限で予算措置を行なっている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で事業を行なっているので、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の公営住宅全体に関係するため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

住宅政策を計画的に進めていくための住宅マスタープランの作成を行った。今後、このマスタープランにより住生活の安定の確保及び向上の促進を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>合志市住宅マスタープランを策定した。今後はこのマスタープランに基づき市営住宅の整備についても計画的に進めていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						